

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十七年二月度 入選句（投稿総数千二百二十一句・一般投句数五百九十七句）

特選

選者 田中 青志

溶けながら考えている雪達磨

大垣市

川瀬 幸子

子たちの作つた雪達磨、みんな出掛けてしまった庭の真ん中に立っています。私はひとり留守居をしながら、来し方そして行末に思いを馳せています。雪達磨くんも柔い日差しにだんだん身を細くしながら私と同じようなことを考えているようです。お互い頑張ろうよな、そんなことを呟いている私でありました。

節分の号砲村を揺さぶりぬ

大垣市

名和 よちゑ

節分と聞いただけで心が躍る思いがいたします。号砲が村に轟ろいて今日は恒例の裸まつりです。村を挙げての伝統行事、裸男が続々と集つていやが上にも盛り上げる村の中。ばたばたと表を走る足音が活気に満ちて今年も春が来たというよろこびに湧くひとときです。

少女らの弾ける声や梅ひらく

大垣市

早崎 美弥子

梅の花が飛ぶようにきらきらと咲き始めました。少女らの弾けるような声に呼応するかのようです。梅の花は清純な気品を持っています。いやなことからの多い昨今ですがこの梅の花のように、そして明るい少女らのように清らかな明るい世の中になることを祈ります。

秀逸

歌舞伎座は曾根崎心中近松忌

安八郡神戸町

早津 郁男

廃校に残る板書や山眠る

大垣市

今津 正元

そこそこのくらしが好きで大根煮る

福井県福井市

三ツ山 しげ子

凍る朝掴みきれない皿洗う

揖斐郡揖斐川町

栗田 彩織

着ぶくれてむかしは野球選手なり

大垣市

村田 通夫

春浅し流れる雲も吹く風も

大垣市

川瀬 芙沙子

春近し折目破れし地囃ひろぐ

大垣市

末守 節子

春寒しどうしようもない留守居かな

大垣市

多和田 一徳

麦を踏む烈風に身をひびかせて

大垣市

森 芳昭

入選

家中の時計正して初曆
 奴胤幼ない瞳の中で舞う
 古曆めぐり思ひ出捨てにけり
 枯れた葉をそつと持ち上げ露のとう
 大根が味噌に染まって椀の中
 ジヤムを煮る厨に春の香たつ
 大粒の涙のやうな梅つぼみ
 御降や暮れて静かに灯る宮
 口下手の親に似し子や冬帽子
 志す夢の一步や大試験

大垣市 町野 眞佐子
 大垣市 杉崎 寿美
 大垣市 日比野 美千子
 不破郡垂井町 桐山 芳和
 揖斐郡揖斐川町 栗田 彩織
 大垣市 山田 千歌子
 揖斐郡大野町 藤田 涼子
 不破郡垂井町 大羽 志津子
 岐阜市 宮西 美代子
 大垣市 多和田 一徳

入選

遠山も近くの山も深雪晴
 寒波来る小屋より覗く仔牛の目
 春立つや倒立少しできた一瞬
 長寿とは残さるること春隣
 大どんどあした働く手をかざす
 縄とびの園児らに空晴れ渡る
 水ぬるむ染屋の椅子に見本帖
 湖に浮かぶ裸木夕暮るる
 初電話生涯ぬけぬ美濃訛
 托鉢の僧の傘打つ冬の雨
 一齢を加ふる重み寒椿

大垣市 町野 眞佐子
 大垣市 大西 誠一
 大垣市 谷 彩虹
 福井県福井市 三ツ山 しげ子
 福井県福井市 三ツ山 ひろし
 愛知県瀬戸市 田村 清美
 大垣市 秋山 くに子
 大垣市 名和 三津子
 大垣市 棚橋 みさを
 岐阜市 小湊 順子
 不破郡垂井町 白井 梅乃

選者吟

梅開く真つ白といふ自信持ち

青 志